

平成30年度 行政評価シート

施設名	旭川市旭山動物園	所在地	旭川市東旭川町倉沼		
担当部局	経済部	電話番号	36-1104	内線	-

1 施設の概要

設置目的	市民の動物に対する科学的教養を高めるとともに、合わせて市民の保健及び教養に資するため。				
設置根拠	旭川市旭山動物園条例				
設置年月日	昭和42年7月1日	増改築			
建設費(単位:千円)	(新築時)	279,948(当初計画S40~43年度)	(増改築時)		
規模・構造等	敷地面積 151,998.56㎡ 建造物75棟				
利用対象者	制限なし				
事業内容	野生動物の飼育展示, 動物の繁殖, 調査・研究, 教育・啓発活動				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営	(平成30年度の職員体制) 正職員 30人, 臨時職員 24人, 嘱託職員 5人			
	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部業務委託)	(委託内容) 園内業務(売改札, 展示館案内誘導, 園内清掃, 園内警備等), 夜警・ポイラー, 各種設備点検, 園内ごみ収集 ほか			
料金制度	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> その他( )				
減免制度	あり(全額減免:70歳以上市内在住者, 生活保護受給者・要介護等認定者・障がい者及びその介助者)				
類似施設 (民間の施設を含む)	なし				
類似施設との違い					

2 管理運営の状況

(1)旭山動物園特別会計収支

(単位:千円)

年度		H27年度 (決算)	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (予算)	備考
内訳	人件費	332,905	320,030	295,262	322,914	
	正職員	269,667	256,658	236,000	258,525	
	臨時・嘱託職員	63,238	63,372	59,262	64,389	
需用費	燃料費	21,059	22,966	26,508	25,038	
	光熱水費	72,151	76,260	69,589	72,494	
	修繕料	33,219	53,693	32,561	26,982	
	飼料代	42,458	40,858	40,739	42,106	
	その他	18,472	18,678	21,902	15,949	消耗印刷費, 医薬材料費等
委託料	327,610	318,593	309,227	293,888		
使用料・賃借料	41,910	42,187	42,220	42,910		
備品購入費	39,234	140	4,392	2,980		
工事請負費	16,778	197,389	220,386	204,600		
市債償還(元金利子計)	276,572	201,769	263,034	249,494		
積立金	27,352	33,598	41,257	35,236		
公課費	55,357	35,962	22,119	26,497		
その他	10,815	10,946	11,436	11,203	旅費, 原材料費, 負担金等	
合計(A)		1,315,892	1,373,069	1,400,632	1,372,291	
収入	入園料	866,897	809,064	808,916	847,878	
	寄附金	25,985	33,106	40,784	29,500	
	基金繰入金	36,159	60,108	43,551	35,750	
	市債	98,630	127,600	154,800	146,400	
	その他	69,752	52,410	60,059	52,288	使用料・手数料, 財産収入, 諸収入等
合計(B)		1,097,423	1,082,288	1,108,110	1,111,816	
差引(合計(A)-合計(B)) 一般会計繰入金		218,469	290,781	292,522	260,475	収支の不足分を一般会計から繰り入れている。

## (2) 利用状況

内訳	年度	H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (見込み)	備考
総利用件数(単位:人)		1,521,662	1,431,335	1,429,618	1,500,000	
うち免除利用分		364,175	343,442	348,521	444,065	無料含む
うち減額利用分						
各室 利用率 (単位:%)						
<b>【参考値】</b> 利用者一人当たりの 市費投入額(千円) (一般会計繰入金÷総利用 件数)		0.14	0.20	0.21	0.17	

## (3) 市民ニーズの把握

把握方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査(実施時期, 提出件数等)										
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置(設置数, 提出件数等)										
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の方法(実施時期, 方法等) ・実施時期: 随時 ・方法等: 職員が直接入園者から聞くほか, 園内委託業者を通じて把握										
主な意見と対応状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園内の施設や乗物等に関するもの</td> <td>随時, 可能な範囲で対応・改善</td> </tr> <tr> <td>飼育動物の生態や飼育方法等に関するもの</td> <td>上記に同じ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	対応状況	園内の施設や乗物等に関するもの	随時, 可能な範囲で対応・改善	飼育動物の生態や飼育方法等に関するもの	上記に同じ				
	主な意見	対応状況									
	園内の施設や乗物等に関するもの	随時, 可能な範囲で対応・改善									
	飼育動物の生態や飼育方法等に関するもの	上記に同じ									

## (4) サービス向上, 利用者増に向けた取組, 業務改善, 経費削減などの取組(業務委託は次項に記載)

取組内容	実績・成果
各種ガイド(もぐもぐ, なるほど, ワンポイント)等	動物の生態や生息環境, 飼育担当ならではの話を通じて, 魅力発信をすることで, 入園者への満足向上に努めた。 (H29年度: 229件11,490人)
サマースクール	子どもたちが飼育員の仕事を体験できる機会を提供することで, 命の大切さを伝えるとともに, 動物に対する関心を深め, 以降の来園促進に努めた。(H29年度: 14人)
夜の動物園(夏期)・雪あかりの動物園(冬期)	お盆期間や冬まつり期間の通常開園しない時間帯に開園し, 夜ならではの雪の中ならではの動物の魅力発信をすることで, 多くの方の来園促進に努めた。 (H29年度: 夜動38,355人 雪あかり90,850人)
電気供給における新電力会社への契約切り替え	契約単価を減額できた。 (H28: 基本1,455円/1kwh H29: 基本1,370円)
飼育担当職員の勤務体制の見直し	飼育業務の引継の効率化を図ることができたほか, 経費の圧縮にも貢献した。
今後の予定	ホスピタリティ向上に向けた取組を引き続き推進するほか, 自主財源の確保等に向けた検討を進めていく。

## (5) 業務委託の実績と予定

	年度	内容
業務委託の実績	H30	園内業務(売改札, 展示館案内誘導, 園内清掃, 園内警備等), 夜警・ポイラー, 各種設備点検, 園内ゴミ収集 ほか
	H29	上記に同じ
	H28	上記に同じ
今後の予定		必要性を精査した上で委託業務を発注しているため, 基本的に現状維持となるが, 状況に応じ仕様の見直しを行い, 経費削減に努めていく。

(6) 指定管理者制度の導入について

指定管理者の担い手	<input checked="" type="checkbox"/> 担い手になりうる団体がある <input type="checkbox"/> 市内 <input checked="" type="checkbox"/> 市内にはないが市外にはある	
	<input type="checkbox"/> 現時点では、担い手になりうる団体がない	
	説明	施設の性質上、動物飼育に関する専門的資格・知識・技術や経験等が必要であることから、担い手になり得る民間事業者は極めて少ない(現時点では、恐らく道内には存在しない)。
メリットの比較	サービス向上	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入 <input type="checkbox"/> 不明
	コスト削減	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入 <input checked="" type="checkbox"/> 不明
	説明	指定管理については、展示施設のほか園内の売店や食堂等の取扱いや、来園者に対するサービス提供の基準をどこまでとするか(低下を招く恐れ)など、様々な考え方があるため、コスト比較は困難である。
他市の導入状況	道内では導入例はないが、道外では導入している動物園がある。	

3 施設の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化が進み修繕費が増加傾向にある。</li> <li>人口減少や少子高齢化が進行する中、市内や近郊からの入園者数が減少傾向にある。</li> <li>魅力を低下させないよう恒常的に修繕やリニューアルが必要であるが、そのためには、一般会計からの安定した繰入、及び入園料収入やその他自主財源の開拓・確保が必要である。</li> </ul>
--

4 公共施設等総合管理計画(施設再編計画)における評価

A継続: 単独施設	将来にわたり市が保有し続ける施設で、事業・設備の状況から、単独施設が望ましいもの。
-----------	---

5 評価

(1) 1次評価(所管部局)

活動量と成果	説明 ※活動量とは、利用件数や利用率、事業の実施件数など
<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 予定どおり <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	近年は、大規模な施設の新設等をしていない状況であるが、職員によるガイドを増やすなどソフト面の充実や、園内看板等の外国語表記、Wi-Fiエリアの拡大を行っており、若干、減少傾向にあるものの140万人台の高い水準の入園者数を確保している。
運営の効率性	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	来園者に対するホスピタリティの質の低下を招かない範囲で、委託業務の内容を見直すなど、可能な限り効率的な運営に努めている。
評価及び見直しの内容	
<p>「伝えるのは命」という理念のもと、動物の魅力発信を通して、「レクリエーションの場」「教育の場」「自然保護の場」「調査・研究の場」という主たる使命を果たすよう、これまでの取組を引き続き実施していくとともに、今後においては、新たな視点や手法等を模索していく。</p> <p>人口減少、少子高齢化が進む中、施設運営に係る経常的経費、施設の老朽化に伴う修繕費、リニューアル費用を安定的に確保していくためには、経費削減など、運営の効率化を図るとともに、入園料収入の安定確保及び自主財源の開拓・確保に努めていく。</p>	

(2) 外部評価(行財政改革推進委員会の意見)

評価及び見直しの内容

(3) 2次評価(行政評価検討会議)

評価及び見直しの内容
旭川市を代表する観光施設としての魅力の維持向上と財政負担のバランスを取るため、運営の効率化を図るとともに、入園料収入のほか新たな自主財源の確保に努め、計画的な施設修繕とリニューアルを図ること。